

# 感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2023年第42週 (10月16～22日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

## ●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2023年第1週から)

疾患名	報告数	累積
<b>[1類]</b>		
(報告なし)		
<b>[2類]</b>		
結核	215	11390
<b>[3類]</b>		
コレラ		2
細菌性赤痢	1	32
腸管出血性大腸菌感染症	98	3122
腸チフス		34
パラチフス		8
<b>[4類]</b>		
E型肝炎	10	451
A型肝炎	1	41
エキノкокクス症		12
エムボックス <sup>1)</sup>	1	204
オウム病		8
回帰熱		21
コクシジオイデス症		2
ジカウイルス感染症		1
重症熱性血小板減少症候群	1	125
チクングニア熱	1	6
つつが虫病	1	120
デング熱	4	124
日本紅斑熱	21	421
日本脳炎	2	4
ブルセラ症		1
マラリア		24
ライム病	1	29
レジオネラ症	44	1856
レプトスピラ症	1	38
<b>[5類]</b>		
アメーバ赤痢	5	403
ウイルス性肝炎 <sup>2)</sup>	3	195
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 <sup>3)</sup>	43	1645
急性弛緩性麻痺 <sup>4)</sup>	2	49
急性脳炎 <sup>5)</sup>	21	467
クリプトスポリジウム症		10
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	128
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13	670
後天性免疫不全症候群	18	752
ジアルジア症		35
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	450
侵襲性髄膜炎菌感染症		13
侵襲性肺炎球菌感染症	28	1393
水痘(入院例に限る)	5	302
梅毒	172	12165
播種性クリプトкокクス症	4	139
破傷風	5	88
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	100
百日咳	30	786
風しん		11
麻疹		25
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	13

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

## ●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ <sup>6)</sup>	81160	16.41
新型コロナウイルス感染症	16075	3.25
RSウイルス感染症	305	0.10
咽頭結膜熱	6795	2.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8417	2.67
感染性胃腸炎	9637	3.06
水痘	319	0.10
手足口病	3229	1.03
伝染性紅斑	36	0.01
突発性発しん	772	0.25
ヘルパンギーナ	742	0.24
流行性耳下腺炎	120	0.04
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	614	0.88
細菌性髄膜炎 <sup>7)</sup>	15	0.03
無菌性髄膜炎	17	0.04
マイコプラズマ肺炎	38	0.08
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>8)</sup>	2	0.00
インフルエンザ(入院患者)	403	—
新型コロナウイルス感染症(入院患者)	1138	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	▲	愛媛、千葉、埼玉
新型コロナウイルス感染症	▼	北海道、長野、福島
RSウイルス感染症	▼	愛媛、山形、秋田
咽頭結膜熱	▲	沖縄、福岡、奈良
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲	鳥取、宮崎、埼玉
感染性胃腸炎	▲	香川、大分、福井
手足口病	▼	新潟、佐賀、宮崎
伝染性紅斑	▲	福井、岩手、和歌山
ヘルパンギーナ	▼	佐賀、高知、山形
流行性耳下腺炎	▲	山形、富山、大阪、和歌山
マイコプラズマ肺炎	▲	青森、群馬、茨城

### ◆咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は発熱、咽頭発赤、結膜充血などの症状・所見を伴う小児に多い急性ウイルス性感染症で、6～7月頃にピークを形成する。2023年は、例年、患者報告数が減少する第33週(8月14～20日)頃から増加し、第42週は過去10年で最も多い報告数(定点当たり2.16)となっている。